

## 衛星妨害状況把握装置の航空自衛隊入間基地への展開について

### 1. 衛星妨害状況把握装置の概要

宇宙空間は、安全保障の基盤として情報収集や指揮統制等に活用され、重要な役割を果たしています。

このような宇宙空間の安定的な利用を確保するため、我が国が利用する各種人工衛星に対する電磁妨害の状況を把握することを目的として、衛星妨害状況把握装置を整備することとしています。当該装置は、令和4年度末に新編を予定している航空自衛隊第2宇宙作戦隊（仮称、防府北基地）の装備品として運用され、我が国の利用する人工衛星を広くカバーするため、東日本、西日本及び南西方面に一式ずつ展開させることを想定しています。

### 2. 航空自衛隊入間基地への展開について

衛星妨害状況把握装置の東日本方面への展開先については、上級部隊等の所在する府中基地に近く、管理が容易であること、必要な地積が確保可能であること等を総合的に勘案した結果、入間基地とすることといたしました。

なお、本装置は入間基地以外の東日本の演習場等に機動展開させることも想定しています。



【装備品のイメージ図】